

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立吉田中学校

1 学年校外学習を通じた地域連携

～富士山学習の一環として、富士登山を専門家とともにを行う連携～

1. 目的と経緯

本校では、富士吉田市が推進し、本校の特色としている「富士山学習」の一環として、R5年度から1学年の校外学習として「富士登山」を行っている。この取り組みには、富士山に赴いての体験活動を通して、富士山とその周辺地域の自然の理解を深めることや富士山が火山であるという認識を深め、火山防災を考える学習につなげることが目的となっている。また、中学校に入学して間もない1年生が、学年・学級の活動を通して、中学生としての集団づくりの基礎を培うことも目的の一つとしている。

2. 内容

1学年の生徒が、担任や学年職員などとともに、富士宮五合目から宝永山火口縁を上がり、富士山六合目の宝永火口の上部を目指すルートで登山を行っている。登山前には、事前学習として、マウントフジトレイルクラブの代表・太田安彦さんに富士山に関することや登山中の注意などをお話しいただき、登山当日は太田さんをリーダーに、各クラスにお一人ずつのサポートを受けながら、安全に登山を行っている。登山中は、マウントフジトレイルクラブの方々の登山に関するレクチャーを受け、自然に親しみながら、登山を楽しむことができています。



3. 成果と課題

- ・コースについては、体力差のある一学年生徒には、適切な難易度であり、さらに防災・火山という視点で富士山の学習を深めるのによいコースとなっている。
- ・吉田口の登山道を小学校の時に経験しているため、富士山を多面的にとらえるためには、静岡側からのアプローチがよい視点となっている。
- ・マウントフジトレイルクラブの代表・太田さんから直接お話しいただいたことで当日が楽しみになったり、当日の注意事項にもつながったりしていて、外部機関との連携が生徒たちのよい体験につながっており、せいよくなっている。
- ・5月下旬の富士山は、まだ寒さを感じることもあり、設定時期の難しさがある。また、トイレの設置場所が限られており、学校で簡易トイレを持参しているが対応の難しさを感じている。

